Asian Student Exchange Program*Dec.2018*

**Distant Horizons, Close Friends**

【アジア・学生インターネット交流プログラム　2018　in　台湾】

***Asian Students Exchange Program 2018 in Taiwan***

**主催　アジア高校生インターネット交流プログラム実行委員会**

**後援 ＡＳＥＰ　　国際交流研究会**

|  |  |
| --- | --- |
| **１** | **目的** |

・ICT活用による国際交流のあり方を探る

・アジアにおける英語コミュニケーションのあり方を探る

・ホームステイ、交流会などを通じての日本と台湾・アジアの若者の文化交流を行う

・台湾高雄市のICT教育、英語教育、交流実践視察

|  |  |
| --- | --- |
| **２** | **参加校** |

日本福祉大学、関西大学、中京大学、立命館中学・高校、南山国際高校、福井商業高校、

立命館守山中学・高校、奈良育英高校、大阪夕陽丘学園高校、立命館宇治中学・高校、

名古屋商業高校、神戸大学附属中等教育学校、大阪市立東高校、関西学院千里国際高校ほか

|  |  |
| --- | --- |
| **３** | **集合時刻・場所** |

2018年１２月　　日（　）　午　　時　　分

国際空港　　　　国際線出発ロビー　　付近

＊参加者がそろったら、カウンターでチェックイン

－集合から搭乗までの流れ－

搭乗手続き・機内預け手続き

セキュリティーチェック

出国審査（パスポートと搭乗券を提示）

搭乗ゲートに出発３０分前までに集合

（当日の搭乗ゲートは搭乗券で確認）

便へ搭乗　(パスポート・搭乗券　提示)

＊台湾入国時の注意事項

帰国便の航空券と帰国日以降まで有効期限が残っている日本のパスポートで、一時滞在のビザは免除。

日本国以外が発行したパスポートの場合はビザ免除の基準が異なるので、確認が必要。

入国審査の際は、念のため往復の航空券(搭乗券とともに)を手元に用意しておくこと。

台湾ドルへの両替は、台湾入国後を推奨

|  |  |
| --- | --- |
| **４** | **日程** |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Day | Date | Place | Time | Schedule |
| １ | １２／  ２５  (火) | 関　空　発  高 雄 着 |  | チームごとに高雄へ集合、空港出迎え  翌日の集合時間確認  (生徒：ホームステイ、教員：ホテル) |
|  |  |  |  |  |
|  | １２／  ２７  　（木） | 高雄滞在 |  | 生徒：各ホスト校と交流  教員：記者会見・研修会  (生徒：ホームステイ、教員：ホテル) |
|  | １２／  ２８  （金） | 高雄滞在 |  | ASEP国際プレゼンテーション大会  夕：パーティー  (生徒：ホームステイ、教員：ホテル) |
|  | １２／  ２９  （土) | 高 雄 発  関　空　着 |  | 空港へ集合　場所時間は現地で指示  　出国手続き  着後、関西空港で解散 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **5** | **宿泊ホテル（日本チーム教員への連絡先）** |

高　雄：国賓大飯店　高雄(Ambassador Hotel)

　　　　住　所　80144高雄市民生二路202号　　　　電　話　+886 7 211 5211

|  |  |
| --- | --- |
| **6** | **手配旅行社** |

　担当者 ：

|  |  |
| --- | --- |
| **7** | **ホームステイについて** |

ホームステイをする人は各自で、ホストの家におみやげを持っていくこと。

①おみやげ…生徒が自分で３，０００円程度のものを買って各自持っていく。

②話のきっかけに…日本の自分・家族の写真など・学校の写真やパンフレットなど

　③お菓子（日本のチョコレートは喜ばれる）や小物

　④雑誌や新聞なども話のネタになる。ただし、失礼にならない内容のもの。

|  |  |
| --- | --- |
| **8** | **参加ガイド** |

★持ち物チェックリスト

　□パスポート　　□パスポートのコピー　　□この「しおり」　　□制服またはフォーマルな服

　□常備薬　　　　□歯ブラシ・歯磨き　　　□タオル（大小最低２枚）　□虫よけローション

　□石鹸・シャンプー・リンスなど　　□ポケットティッシュ（さらに、ウェットティッシュもあると便利）

　□ホームステイ先へのおみやげ（３，０００円見当）

□プレゼンテーションに必要なもの（画像やパワーポイントのデータなど）

□学校名やメールアドレスも記入した英語の名刺を作っておくと便利

★時差

日本と台湾の時差は1時間。日本よりも1時間遅れる。日本が午後1時なら台湾は正午。行きの飛行機の中で時計を1時間戻しておこう。（帰りの機中で1時間戻すのを忘れないように！）

★気候

12月の日本と台湾の平均気温は下表のとおり。服装等くわしくはインターネットや旅行ガイドなどで調べてみよう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 日　本 | 台　北 | 高　雄 |
| 最低気温 | ２．７℃ | １４．２℃ | １６．５℃ |
| 最高気温 | １１．４℃ | ２０．８℃ | ２４．４℃ |

参考：日本の６月の最低気温16.2℃、最高気温22.4℃　　日本の初夏を想定するとよい、降雨はあまりない

* 通貨

ＮＴ＄（ニュータイワンドル）ただし表示は圓（イエン）。　１ＮＴ＄＝約４円

紙幣は5種類、硬貨は5種類。紙幣には「圓」と旧字で書かれている。

日本での二千円札のように台湾ドルの２０００元札はほとんど見かけません。

★日本への連絡

国際電話は00181のあとに市外局番のゼロを除いて、＋局番と番号。フリーWi-Fiもわりと各所にある

★電圧について

電圧は１１０V・６０Ｈｚ。コンセントは形が少し違うが日本と同じ２極式。

ほとんどの家電製品はそのまま使える。精密機器は内蔵されたものは変圧アダプターを使ったほうがよい。

★チップ

基本的には不要。親しい間柄で、何かのお礼に現金を渡すのは失礼にあたるので注意。

★飲料水

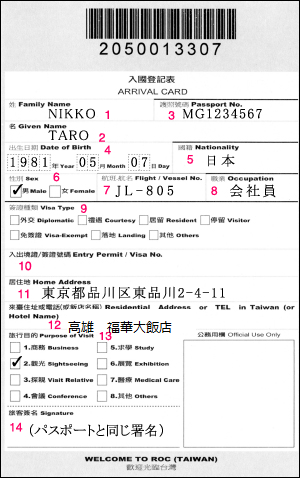
硬水なので、生水を飲むのは厳禁！！（腹こわすぞ！）

★日本語について

台湾は第２次大戦終結までの50年間、日本の統治下にあった。その時代の国民学校で日本語による教育を受けた人々は、流暢に日本語を話す。そのような歴史的背景をふまえ、節度ある態度で台湾の人たちに接したい。また想像以上に日本語の通じる場所も多いので、どうせわからないだろうなどと悪口を言ったりしないこと。

★治安について

台湾の治安は、日本と同じくアジアの中でも比較的良好な方といえる。ただし、日没後や人通りのないところで一人歩きをするのはやめておこう。滞在中は、いつでも複数で行動するようにしよう。また、自動車やバイクは歩行者を優先してくれない。日本のように横断歩道を青信号だからといってぼんやり渡っていると、平気で突っ込んでくる。歩道といえども例外ではない。外歩きのときは、十分注意しよう。

★入国カードの記入方法　(台湾到着までに記入しておく)

記入事項

1. 姓　ローマ字　　②名　ローマ字

③旅券番号【パスポートを見ながら】

④生年月日

⑤国籍　英語　or　漢字

⑥性別

⑦入国時の搭乗便名

⑧職業　英語　or　漢字　例：student

⑨査証の種類 【日本国籍の場合は不要】

⑩査証の番号 【日本国籍の場合は不要】

⑪現住所　英語　or　日本語

⑫台湾での住所（ホテル名）

⑬旅行目的　　観光にチェック

⑭署名　【パスポートと同じサインを記入】

★機内に持ち込まなくてはいけないもの

パスポート、航空券、現金、貴重品、スーツケースのかぎ、

筆記具(黒ペン)、パソコンなどの精密機器、このしおり

こわれ物はなるべく手荷物で持ち込んだ方が良いです

また、機内持込手荷物は基本的に一個となっています。

荷物に関してのルールは航空会社によって異なります。

★機内に持ち込めないもの　(小型バッテリーの持ち込み条件は航空会社に確認)

バッテリー類、火気類、漂白剤、スプレー糊、殺虫剤、ナイフ、カッター、カミソリ、ハサミ

また、液体のモノは、原則持ち込めません。飲料の他、化粧品、コンタクト用品、はみがきチューブなど。

バッテリー、ハサミ類はあらかじめスーツケース内に入れておいてください。

帰国時にお土産でもらったモノを機内に持ち込む手荷物に入れる時は、中身が液体でないか気をつけましょう。

★スーツケースについて

最近は一人一人チェックインの航空会社が多く、荷物もプール換算（団体で何キロ以内）ではなく、完全に個人になっています。飛行機会社によって厳しいところと厳しくないところがあります。帰りのお土産を入れることを考えておくべきですし、温かいところへ数日間泊まるだけなのでなるべく軽い荷物を心がけましょう。

チェックインの際に万一オーバーの場合は、その場で荷物を開けて超過分を取り出すか､高額な超過料金を支払うことになることもあります。面倒なだけでなく、時間もかかり､団体のほかのメンバーに迷惑になりますので､往復とも荷物の重量には十分注意して下さい。帰国時の台湾の空港では、預けた荷物がチェックを通過するまでカウンターの端で待ちます。特にバッテリー類、そのように見える金属製品はよく検査に引っかかります。

★洗濯について

女子の場合、自分で下着を洗うときなどが考えられますので、洗濯ネットを持っていくとホストの家族と区別できるので便利です。家族のご好意で洗濯物を一緒にお願いする場合でも、気兼ねなくて結構助かります。また、色落ちするものは自分で洗うかその旨を家族に伝えてからお願いしてください。または、ホストファミリーに頼んでコインランドリーに連れて行ってもらう方法も考えられます。

洗濯をする時、冷蔵庫を開ける時、その他家電製品を使いたい時、などどんな時でも、ホストファミリーに一言断ってからスイッチを入れたり、使ったりしてください

★トイレ

観光や外出の場合はレストランやホテルで済ませておくのがよい。汚れていて、便座に紙を敷いたり除菌クリーナーでふき取ったりする必要があることもある。また、一般的に下水管が細いため、使用した紙を流さずに備え付けのゴミ箱に捨てるトイレも多い。ホストファミリーで使わせていただくときは使用方法要注意。

女子は生理用品の用意を忘れずに。

★持っていくと便利なもの

電卓、目覚まし時計、ガイドブック、中国語会話集、名刺、朝夕や冷房対策のための上着、のど飴

★旅行中の服装について

学校へ行くので､高校生の人は制服、それ以外の人もフォーマルな服装を用意しましょう。大会当日は、きちんと服を整えてきてください。大会当日は、夜のパーティーまで終日会場で過ごすことになります。プレゼンテーションとパーティーで必要なもの、夜帰るときに寒くないようになど考えて必要なものは各自持参して下さい。高雄では基本的に、日本の春から初夏くらいのイメージでよいです。

★贈り物のタブー・縁起・習慣

台湾でも、日本と同様に刃物類は好まれないようです。また、お葬式で手ぬぐいを贈る習わしがあることから「ハンカチ」もタブー品とされているようです。「置き時計（=鐘 zhong）」と「終わる（=終 zhong）」、「傘（=傘 san）」と「散る（=散 san）」のように、同音の意味合いからタブーとされているものもあります。

台湾では日本とは逆に「慶事は偶数、弔事は奇数」が習わしとされています。これは偶数は「対」になることから「吉祥」とされ、反面、奇数は縁起が良くないとされてきました。「８」は末広がりで大吉、「４」は避けるべきとされているのは日本と同じです。

台湾人は「死」に関しては大変迷信深い民族ですので、この事に関しては常に注意が必要です。夜に笛を吹くと悪霊を呼ぶと信じられておりタブーです。墓地やお墓を指さしたりする事も不吉とされます。

★食事のときに

食事を取る際にはそれ程厳しい決まり事はありません。日本での食事のマナーができていれば問題ないでしょう。ただし、麺類を食べるときに大きな音を出して食べるのはマナー違反ですので、その点は注意が必要です。現地の人は麺を一旦レンゲの上に乗せて一口分で食べているようです。

★ニックネーム

　年配の人を除き、台湾の人は大抵ニックネーム（英語名や日本語名など）を持っていて、それで呼び合うことが多いです。現地の友達ができたら、自分のニックネームも教えてあげましょう。

★言語と文字

　台湾は小さな国ですが、複雑な歴史的経緯もあって、北京語、台湾語、客家語などの様々な言葉が使われています。学校教育は北京語で行われているので、一部の山岳地域を除きどこでも通じます。ただし、日本で学ぶ中国語（中華人民共和国の普通話）とは、発音や言い回しなどで、若干の違いがあります。

　また、台湾の漢字は繁体字（日本の旧漢字に近い）を用いているので、中国の簡略化された簡体字とは異なり、日本人には馴染みやすい漢字となっています。なお、筆談では日本の漢字を書いてもかなり理解してもらえます。

★台湾の暦について

台湾で使われている中華民國紀年は、民国歴ともいい、西暦（グレゴリオ暦）から1911を差し引くことで算出することができる。食品の賞味期限などが民国暦で書いてある場合があるので、年の確認をする際には西暦と誤認識して驚かないように注意が必要である。

[**西暦**](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E6%9A%A6)**との対照表**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **元年** | **2年** | **3年** | **4年** | **5年** | **6年** | **7年** | **8年** | **9年** | **10年** |
| 西暦 | [1912年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1912%E5%B9%B4) | [1913年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1913%E5%B9%B4) | [1914年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1914%E5%B9%B4) | [1915年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1915%E5%B9%B4) | [1916年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1916%E5%B9%B4) | [1917年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1917%E5%B9%B4) | [1918年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1918%E5%B9%B4) | [1919年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1919%E5%B9%B4) | [1920年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1920%E5%B9%B4) | [1921年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1921%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **51年** | **52年** | **53年** | **54年** | **55年** | **56年** | **57年** | **58年** | **59年** | **60年** |
| 西暦 | [1962年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1962%E5%B9%B4) | [1963年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1963%E5%B9%B4) | [1964年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1964%E5%B9%B4) | [1965年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1965%E5%B9%B4) | [1966年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1966%E5%B9%B4) | [1967年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1967%E5%B9%B4) | [1968年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1968%E5%B9%B4) | [1969年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1969%E5%B9%B4) | [1970年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1970%E5%B9%B4) | [1971年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1971%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **61年** | **62年** | **63年** | **64年** | **65年** | **66年** | **67年** | **68年** | **69年** | **70年** |
| 西暦 | [1972年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1972%E5%B9%B4) | [1973年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1973%E5%B9%B4) | [1974年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1974%E5%B9%B4) | [1975年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1975%E5%B9%B4) | [1976年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1976%E5%B9%B4) | [1977年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1977%E5%B9%B4) | [1978年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1978%E5%B9%B4) | [1979年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1979%E5%B9%B4) | [1980年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1980%E5%B9%B4) | [1981年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1981%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **71年** | **72年** | **73年** | **74年** | **75年** | **76年** | **77年** | **78年** | **79年** | **80年** |
| 西暦 | [1982年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1982%E5%B9%B4) | [1983年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1983%E5%B9%B4) | [1984年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1984%E5%B9%B4) | [1985年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1985%E5%B9%B4) | [1986年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1986%E5%B9%B4) | [1987年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1987%E5%B9%B4) | [1988年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1988%E5%B9%B4) | [1989年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1989%E5%B9%B4) | [1990年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1990%E5%B9%B4) | [1991年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1991%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **81年** | **82年** | **83年** | **84年** | **85年** | **86年** | **87年** | **88年** | **89年** | **90年** |
| 西暦 | [1992年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1992%E5%B9%B4) | [1993年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1993%E5%B9%B4) | [1994年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1994%E5%B9%B4) | [1995年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1995%E5%B9%B4) | [1996年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1996%E5%B9%B4) | [1997年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1997%E5%B9%B4) | [1998年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1998%E5%B9%B4) | [1999年](http://ja.wikipedia.org/wiki/1999%E5%B9%B4) | [2000年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2000%E5%B9%B4) | [2001年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2001%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **91年** | **92年** | **93年** | **94年** | **95年** | **96年** | **97年** | **98年** | **99年** | **100年** |
| 西暦 | [2002年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2002%E5%B9%B4) | [2003年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2003%E5%B9%B4) | [2004年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2004%E5%B9%B4) | [2005年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2005%E5%B9%B4) | [2006年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2006%E5%B9%B4) | [2007年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2007%E5%B9%B4) | [2008年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2008%E5%B9%B4) | [2009年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2009%E5%B9%B4) | [2010年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2010%E5%B9%B4) | [2011年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2011%E5%B9%B4) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **民国** | **101年** | **102年** | **103年** | **104年** | **105年** | **106年** | **107年** | **108年** | **109年** | **110年** |
| 西暦 | [2012年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2012%E5%B9%B4) | [2013年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2013%E5%B9%B4) | [2014年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2014%E5%B9%B4) | [2015年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2015%E5%B9%B4) | [2016年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2016%E5%B9%B4) | [2017年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2017%E5%B9%B4) | [2018年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2018%E5%B9%B4) | [2019年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2019%E5%B9%B4) | [2020年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2020%E5%B9%B4) | [2021年](http://ja.wikipedia.org/wiki/2021%E5%B9%B4) |

|  |  |
| --- | --- |
| **9** | **事前アンケート（行きの機中で記入）** |

【Ａ】台湾について

（１）台湾について、あなたの興味・関心はどのようなものですか？

４．大変興味・関心がある　３．やや興味・関心がある　２．あまり興味・関心がない　１．ほとんど興味・関心がない

（２）台湾についてのあなたのイメージはどのようなものですか？

（自由記述）

（３）台湾について次の中からあなたが少しでも知っていることを選んでください。（複数回答可）

文化　　　歴史　　　国旗・国歌　　　経済・政治　　　学校制度　　料理

その他（具体的に）

（４）台湾の高校生（大学生･中学生）について、あなたはどのようなイメージを持っていますか？（自由記述）

（５）台湾に行くことについての不安はどのようなことですか？

《英語》

５．自信がある　４．何とかなると思う　３．何とも言えない　２．少し不安である　１．とても不安である

《ホームステイ》

５．自信がある　４．何とかなると思う　３．何とも言えない　２．少し不安である　１．とても不安である

《現地生徒のコミュニケーション》

５．自信がある　４．何とかなると思う　３．何とも言えない　２．少し不安である　１．とても不安である

《治安》

５．自信がある　４．何とかなると思う　３．何とも言えない　２．少し不安である　１．とても不安である

《町の人々の日本人に対する対応》

５．自信がある　４．何とかなると思う　３．何とも言えない　２．少し不安である　１．とても不安である

【Ｂ】事前準備・事前交流について

（１）プレゼンの準備はうまくできましたか？

４．大変うまくできた　３．うまくできた　２．なんとかできた　１．あまりうまくできなかった

（２）このプロジェクトのためのメーリングリストはうまく機能したと思いますか？

４．とてもよく機能した　３．まあまあ機能した　２．あまりうまく機能しなかった　１．機能しなかった

（３）このプロジェクトのためのホームページはうまく機能したと思いますか？

４．とてもよく機能した　３．まあまあ機能した　２．あまりうまく機能しなかった　１．機能しなかった

【Ｃ】英語に関して

（１）現在、あなたの英語に関する興味・関心・意欲はどのようなものですか？

５．大変ある　４．ややある　３．どちらともいえない　２．あまりない　１．ほとんどない

【Ｄ】企画全体について

（１）今回の企画であなたが一番楽しみにしている（期待している）ことはどのようなことですか？（自由記述）

（２）今回の企画であなたが不安な点（不満な点）はどのようなことですか？（自由記述）

|  |  |
| --- | --- |
| **10** | **事後アンケート（帰りの機中で記入）** |

【Ａ】台湾について

（１）台湾についての興味・関心は以前と比べて変わりましたか？

５．興味・関心が大変増した　４．やや増した　３．以前と変わらない　２．ややなくなった　１．なくなった

（２）台湾についてのイメージは以前と比べて変わりましたか？

１．変わった　２．変わらない

　　　（1.と回答した人は、どのように変わりましたか？）

（３）台湾について、今回の旅行であなたが学んだことを選んでください。

（複数回答可）

文化　　　歴史　　　国旗・国歌　　　経済・政治　　　学校制度　　料理

その他（具体的に）

（４）台湾の高校生（大学生･中学生）に実際に会ってみて、あなたはどのような印象をもちましたか？（自由記述）

（５）台湾に行ってみて次のことはどうでしたか？

《英語》

５．自信がついた　４．何とかなった　３．何とも言えない　２．まだ少し不安　１．まだとても不安

《ホームステイ》

５．とても楽しかった　４．楽しかった　３．何とも言えない　２．あまり楽しくなかった　１．不満が残る

《現地高校生徒のコミュニケーション》

５．大丈夫だった　４．何とかなった　３．何とも言えない　２．少し不安だった　１．とても不安が残った

《治安》

５．とてもよかった　４．問題はなかった　３．何とも言えない　２．少し不安だった　１．とても不安だった

《町の人々の日本人に対する対応》

５．とてもよかった　４．問題はなかった　３．何とも言えない　２．少し不安だった　１．とても不安だった

【Ｂ】プレゼンテーション・データ・スクリプト作成に関して

（１）プレゼンテーションはうまくできましたか？

４．大変うまくできた　３．うまくできた　２．なんとかできた　１．あまりうまくできなかった

（２）台湾の学生・生徒と実際によくコミュニケーションできましたか？

４．大変うまくできた　３．うまくできた　２．なんとかできた　１．あまりうまくできなかった

（３）プレゼンテーションに関しての感想を書いてください。（自由記述）

（４）インターネットでのコミュニケーションについての感想を書いてください。（自由記述）

【Ｃ】英語に関して

（１）現在、あなたの英語に対する興味・関心・意欲はどのようなものですか？

５．大変ある　４．ややある　３．どちらともいえない　２．あまりない　１．ほとんどない

（２）他のグループや台湾のプレゼンの内容などの英語は理解できましたか？

４．よく理解できた　３．ある程度は理解できた　２．あまり理解できなかった　１．ほとんど理解できなかった

（３）英語あるいは英語学習に関して感じたことを書いてください。

【Ｄ】今回の企画全体について

（１）今回の企画に参加してどうでしたか？

５．大変よかった　４．まあまあよかった　３．あまりよくなかった　２．よくなかった　１．わからない

（２）今回の企画の個別の内容について、

大変よかった（５）、よかった（４）、ふつう（３）、あまりよくなかった（２）、よくなかった（１）

を記入してください。

(a)事前のメールによる交流 〔　　　〕

(b)プレゼンの事前準備 〔　　　〕

(c)プレゼン発表 〔　　　〕

(d)ホームステイ 〔　　　〕

(e)フェアウェルパーティー 〔　　　〕

(h)市内観光 〔　　　〕

（３）台湾の友人と今後も交流を継続したいですか？

４．ぜひ継続したい　３．なるべく継続したい　２．あまり継続したくない　１．継続しない

（４）今回の企画で最も感動したこと、印象に残ったことを書いてください。

(自由記述)

（５）このような企画に今後も参加したいですか？

４．ぜひ参加したい　３．機会があれば参加したい　２．どちらともいえない　１．あまり参加したくない

（６）自由に記述してください。

《ホームステイ先の人に》

《台湾の友人に》

《台湾の先生たちに》

《日本の他校の生徒・学生たちに》

《日本の先生たちに》

ＭＥＭＯ

このページは、あとでふりかえるためのメモをするページです。

出会った人やホームステイの印象、学校を見て感じたことなど、気がついたことをどんどんメモしましょう！！

帰国後、リフレクションレポートを担当の先生を通じて必ず提出してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　プロジェクトサイト参照

www.kageto.jp

ASEP2018

　　　　　　　　　　　　Name